

日本列島 組合探検隊



環境重視社会 への対応

バイオディーゼル燃料で走る無料ショッピングバス

～協同組合江釣子ショッピングセンター（岩手県）～

◆背景と目的

当施設で排出される使用済みのてんぷら油は、年間で7,200リットルにも上る。これを処理するのに処理料を支払っていた。また、ショッピングバスを運行している会社でも、排ガス（黒煙）の排出に対して市民からの苦情があり、対策を講じる必要性に迫られていた他、燃料費の高騰にも頭を痛めていた。

また、日本ショッピングセンター協会が、地球温暖化防止対策の目標を定めており、その実現のために様々な模索を始めていた。

◆事業・活動の内容

平成20年5月10日、BDF（バイオディーゼル燃料）による岩手県交通ショッピングバスの運行が開始した。BDFの回収から再利用までのフローは、江釣子ショッピングセンター・パル及びジャスコ江釣子店で排出される植物油（てんぷら油）を、バイオ燃料のリサイクル会社に無償で提供する。提供を受けたりリサイクル会社がBDFに精製し、バス会社に販売する。そのBDFを使って走行するバスが、江釣子ショッピングセンター・パルの無料ショッピングバスとして、地域の消費者を送迎している。

廃油を提供することで、廃棄に要していた費用が削減でき、バスの運行会社では安い燃料で費用の削減が可能になり、CO₂を出さないことで環境汚染を防止することができる。

◆成果

組合員が負担していた廃油処理の費用がゼロになった。1年間で約19トンのCO₂の削減を実現し、環境汚染の防止に役立った。また、バス運行会社は軽油より1リットル当たり約40円の削減を実現し、燃費も20%アップした。これにより、事業拡大の可能性が出てきており、県内の他の排出者、地域住民からの回収システムを検討することとしている。



【組合の概要】

所在地：岩手県北上市北鬼柳19地割68
電話：0197-65-2514
設立：昭和56年4月 組合員：43名
URL：<http://www.ee-pal.com>

環境重視社会 への対応

廃棄物のリサイクル事業による地域循環型社会の構築

～上越バイオマス循環事業協同組合（新潟県）～

◆背景と目的

廃棄物を有効にリサイクルすることで地域循環型社会を構築することが可能であり、地域の中小企業者の新たなビジネスチャンスにもなることから、当事業に取り組むこととなった。

平成17年に上越市が策定した「バイオマスタウン構想」が農林水産省に事業認定されたことを機に、今までの堆肥に加えて可燃ガス、廃食油からのBDF及び木質ペレット燃料の生産を含めた事業を計画することとなった。さらに、「バイオマスの環づくり交付金」により当組合が事業実施主体となり、平成19年6月21日に「一般・産業廃棄物処理施設設置許可」を受け、平成18年9月に各廃棄物処理、生産施設の建設に着工し、平成20年5月に竣工した。

◆事業・活動の内容

面積約33,000m²の敷地の延床面積6,235m²の工場内に生ゴミバイオガス化設備、下水汚泥乾燥設備、木質ペレット製造設備及びBDF設備を設置し、処理、生産を行う。

◆成果

最新鋭のシステムを具備した「バイオマスタウン構想」の拠点として地域社会から認知され、社会的な評価を大きく高めることになった。また、森林組合からの間伐材等を受け入れ、ペレット化する協働作業を通して農林分野との連携が強固な者となり、将来の新たな事業展開の基礎を得ることができた。

また、他市町村、食品会社、学校関係等から多くの視察があり、各組合員は社会からの高い注目度を実感でき、当事業が社会的なニーズに沿った者であるとの実感を得ることができた。なお、上越市やスーパーなどとの受注契約が結ばれるにつれて、組合員企業の事業の将来性に対する期待が高まった。

【組合の概要】

所在地：新潟県上越市頸城区下三分一1-25
電話：025-539-1718
設立：平成11年2月 組合員：8人
URL：<http://www.jbc.joemate.co.jp>